

栄誉ある二つの受賞

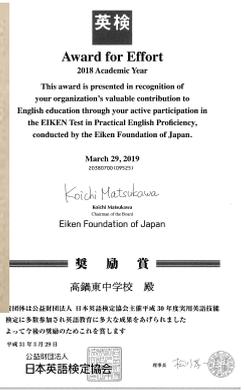
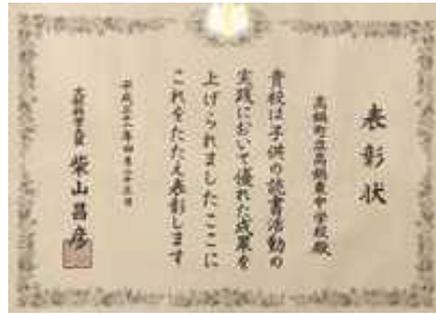
これまでの高鍋東中学校の学習・文化活動が認められ、この度、二つの団体から表彰されました。

全国読書活動優秀実践校 (文部科学省から)

読書活動の実践において、これまで優れた成果を上げてきた。県内の中学校から1校受賞。

英語教育奨励賞 (日本英語検定協会から)

昨年度実施された3回の検定において、すべてに申込みをして毎回多数の生徒が検定に参加・合格した。



東中生 文武に活躍

第41回宮崎県少年柔道学年別選手権大会

中学3年男子重量級 優勝：佐藤 瑛祐 (3年)

西都花祭り柔道大会

中学生の部優勝：佐藤 瑛祐 (3年)

高鍋町小中学校オープン卓球大会

女子：シングルス優勝：吉川ひかる (3年) ダブルス3位：重永侑俐歌・吉川ひかる (3年)
男子：ダブルス 3位：永田 壮雅・齊藤 健 (3年)

杉田・佐竹杯中学生バスケットボール大会

4位：高鍋東中女子バスケットボール部



母の愛は 海より深し 山よりも高し

5月の第2日曜は母の日です。私には83歳の母がいます。私が小学校5年の時に父が病死したため、それ以来母は一人で私と妹を懸命に育ててくれました。二人の子育てのために人生の多くを費やしたような母です。元気なうちに親孝行をしなければといつも考えていますが、これまで大したこともせず本当に申し訳なく思っています。また、若い頃は母が作ってくれる料理をおいしいとはあまり思いもしなかったのですが、最近は母の味の煮物や汁物などがとてもおいしかった、食べたいと思うこの頃です。中学生にとっての親孝行はどんなことでしょうか。お手伝いをしたり、親に感謝の言葉を伝えたりするなど形は様々であれ、どれもすばらしいことだと思います。また、子どもが笑顔で話してくれる、目標をもって元気に頑張っている、好きなことに夢中になっているなど、親にとってはどれもうれしく、日々の親孝行なのかもしれません。以前読んだ本に次のような話があり感動しました。

俺の家は貧乏だった。運動会の日も、授業参観の日さえもオカンは働きに行っていた。

そんな俺の15歳の誕生日、オカンがうれしそうに俺にプレゼントを渡してくれた。ミチコロンドンのトレーナーだった。俺はありがとうと言いつつも、恥ずかしくて着られないなと内心想っていた。その夜考えていた。差し歯を入れるお金もないオカン、ぜいたくはせず、手はかさかさで、化粧なんて当然していない。こんなトレーナー買うくらいなら他の事に使えよ…。

そんな事を考えながら、昔のアルバムを見てみたくなった。若い時のオカンが写っている。えっ！俺は目を疑った。まるで別人だった。きれいに化粧をし、健康的な肌に白い歯をのぞかせながら笑っている美人のオカンがいた。俺は涙が止まらなくなった。俺を育てるために女を捨てたオカン。ミチコロンドンのトレーナーを腕に抱き、その夜は眠った記憶がある。

それから少しばかり時は流れ、俺は高校卒業後の進路を考えなければいけない時期になっていた。大学進学はとっくにあきらめていた。学校で三者面談が行われた時、オカンが先生に向かって言った。「大学に行かせるにはいくらお金が掛かるのですか?」。俺は耳を疑った。びっくりしている俺を横目に、オカンは貯金通帳を先生に見せて、「これで行けますか?」と真っ直ぐな眼で先生を見つめた。

それから俺は死にものぐるいで勉強し、大学に合格することができた。

郷里を離れる際、オカンが俺に真っ赤なマフラーを渡してくれた。学費をかせぎながらの大学の生活は苦しくもあつたが、マフラーを見ると元気が出た。

それから時は流れ、会計士になった俺は来年の春結婚する。そして生活を共にする。俺と最愛の妻と最愛の母とで。なんとしても二人を守ってみせる。色あせたトレーナーとほつれたマフラーを目の前にして俺はそう誓った。サンキュー、オカン。

5・6月 主な行事予定

- 10日(金) ふるさと講話
- 12日(日) PTA奉仕活動(1年生)
- 13日(月) 自転車点検
- 14日(火) 歯科検診
- 15日(水) 東校区合同避難訓練
- 16日(火) 歯科検診
- 17日(金) 生徒総会
- 21日(火) 東・西中合同鑑賞教室

- 22日(水) 中間テスト
- 23日(木) 中間テスト
- 27日(月) 修学旅行説明会(2年生)
- 29日(水) 眼科検診
- 30日(木) 選手激励式(地区総合大会)
- 31日(金) 第1回英検 読み聞かせ(2年生)
- 1日(土)~ 地区中学校総合体育大会 (野球・サッカー・ソフトテニス・水泳)

